

日本樂器製造株式會社

御下には去る四月廿六日正午多衆と共に當工場を離れ無
斷欠勤茲に一ヶ月を經過せり其間當社は表情を披瀝して
各位の反省を促したること一再に止らず然るに不幸今日
に至る迄御諒解を得ざるは遺憾に堪へず就ては此上尚ほ
日時を費すは相互の爲め不利少なからざるに付來る六月
一日正午迄に復歸相成度希望致候若し同時までに其儀無
之に於ては不本意ながら貴下を退職者として處理可致茲
に最後の御考慮を煩はし候也

大正十五年五月二十八日

日本樂器製造株式會社

午多衆ト共ニ當工
月以餘ヲ六經月過セ月其
位ノシ反響者悞寢葛儀
不辭幸備今シ日當一筆就寢
及退職者知、憾也、解備
致候間、此段及御通

日本樂器製造株式會社

東京丸の内區本町二丁目

本邦製造物大正十五年六月三日
東京丸の内區本町二丁目
日本樂器製造株式會社

